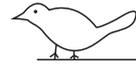


【特集】ひばり園の就労定着支援。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第152号
発行2023.1.15
年4回発行



社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
☎042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

新春を迎えて

社会福祉法人そよかぜ 理事長 加藤照夫

新年あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威をふるい、社会活動や皆様の生活にまで大きな影響が及んだことと存じます。



当法人の各事業活動におきましては関係機関ならび作業発注元の各企業でのご配慮をいただくなかで、利用者やご家族の感染予防対策の努力、そして施設感染予防管理の徹底に努め、最

小限の感染者発生で維持してまいりました。施設利用者の皆様の健康を守るため、気を緩めることなく、引き続き感染予防に努める所存です。

新型コロナウイルスの影響から数年来にわたり、事業所行事は一定の条件下を余儀なくされる中で趣向を凝らした事業活動も徐々に行われ、昨年末に数年ぶりの外出イベントが実施できたのは大きな変化でもありました。参加された利用者の方々も、これまでの我慢の日々が一扫されるような笑顔は、今後の事業活動においてもよりよい方向にすすむものと確信しております。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い平常活動として障害福祉事業の推進を果たしていきたいと存じます。



昭島のフォレストイン昭和館でランチビュッフェを楽しんだ、ひばり園の外出イベント。

本年も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、皆さま方におかれましては、良い一年であることを心より祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人
そよかぜ 役員

理事長
加藤 照夫

副理事長
井上 克巳

理事
田村 義明

田村 尚子

羽村 富男

根岸 徹

監事
羽村 義男

雨倉 久行

評議員
川津 紘順

橋本 唯隆

水上 京子

川村 孝俊

下田 忠男

栗原 悦男

田村 志津子
小林 あや子

評議員
羽村 義男

選任解任委員
石田 茂

雨倉 久行
市川 康浩
野口 晋一



ひばり園で行っている就労定着支援事業は、ひばり園の就労移行支援事業を利用し一般就労された方を対象に、就労に伴う生活面の課題や職場での課題を把握し、解決に向けて支援を行っています。就職して7カ月目から3年6カ月までの期間、就職の支

援をしたひばり園の職員がサポートしていきます。担当職員による職場訪問や来所による面談等でご本人や職場担当者からお話を伺います。できていることを確認し、不安に思っていること、困っていることがあれば必要な対応を行います。

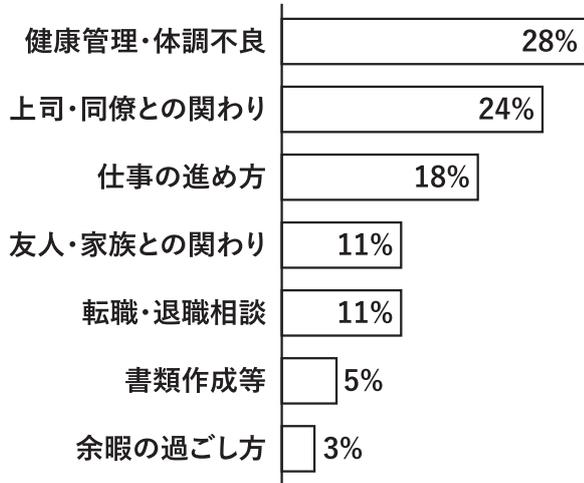
[特集]

ひばり園の就労定着支援

利用者からの相談は多岐にわたります。職場の担当者から相談を受けることや支援を依頼されることもあります。今回は過去2年間の支援内容を分類しました。障害をお持ちの方が一般企業で働き続けていくためには、どんな支援を必要とされているのかが見えてきます。また、その支援の先に生き活きと働き、充実した生活を送られている利用者の姿があることが分かります。

主な相談内容

利用者から

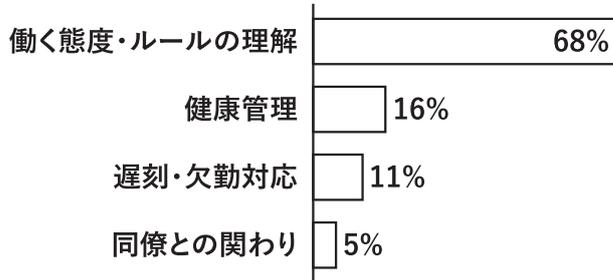


相談の傾向と支援のポイント

安定した健康状態を保つための支援と体調不良時の対応が最も多くなりました。周囲の人との関わりや仕事の進め方に悩むケースも多く、転職や退職の相談に発展してしまうこともあります。職場訪問をしたり面談に来ていただくことで小さな困り事を早期につかみ、働きやすい職場にしていけるよう話し合っていきます。

当事業所との関わりが安心に繋がったり、職員へ頑張りを報告することをモチベーションにしている方もいらっしゃいます。面談の限られた時間の中で働くことの喜びを共有することや、働きやすい職場に近づけるために誰が・どこが・どう変化すれば良いか話をするを大切にしています。

会社から



相談の傾向と支援のポイント

仕事の選り好みや身だしなみなどのマナーについて、また個人情報の取り扱いについてなどが課題として挙がるが多く、利用者と一緒に解決に向けて取り組みました。長く働いてもらいたいと、健康管理について心配される担当者もいらっしゃいました。

入社時にはご本人の性格や障害特性などをポジティブな印象で捉えていただけるように具体的なエピソードを交えてお伝えします。「冷静に対応できた」、「関係性が良くなった」等の心強いお声を頂くこともあります。企業側の困りごとに寄り添うことも大切にしています。

利用者への質問

Question 1 会社の人から褒められたこと、評価されていることを教えてください



苦手意識のある仕事を最後までやり遂げたこと。出張で現場に来られた本社の方に挨拶を褒められた。



一生懸命仕事をしていると、仕事に対するひたむきさを評価された。



間違いがないように丁寧に仕事ができること。



頼まれた整理整頓の仕事をやりきったこと。

他の従業員さんたちが困っていたことを一緒に解決しようと行動したこと。清掃をしていて「きれいになったね」と言われた。



Question 2 仕事でのやりがい、嬉しかったことを教えてください

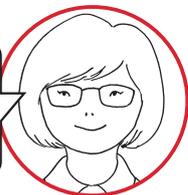


たくさん仕事があるのでやりきった時、やりがいを感じる。「ありがとう」と言われて嬉しい。



毎日間違いがないように仕事をしていたら、新しい仕事を任せてもらえた。信頼してもらえているのかな、と嬉しくなりました。

今までの就労ではデスクワークの仕事ばかりだったけれど、身体を動かす仕事も任されるようになってやりがいがある。



自分の作ったハーブティーが本社の人に飲んでもらえて、来客時にも評判と聞いて嬉しかった。



「助かる!これもやって!」と色々な仕事を任せてもらえるようになったこと。仕事をする中で尊敬できる人や一緒に頑張ろうと思える仲間ができたこと。

Question 3 お給料の使い道は?



新しい本を買ったり、カラオケでリフレッシュするため。



スマホ代、生活費として家族に決まった金額を渡している。趣味のイラストを描くコピックを買う。貯金。母へのプレゼント。

趣味の映画鑑賞やアニメグッズを買う。



趣味の模型を買う。

冷蔵庫など大型家電を入れ替えた。生活の質が上がった!



変化をする当たり前

新型コロナウイルス感染症は、社会経済活動の在り方や働き方、暮らし方というように、これまでの当たり前から大きく変わりました。例えば自宅で仕事をしたり、キャッシュレスで支払いをしたり、オンライン授業などの認識は大きく広まったと言えます。

このような新しい技術の普及がすすんだこともあり、新しい障害者就労としてメタバースを活用した取り組みが行われています。

メタバースは、「メタ(超)」と「ユニバー(宇宙)」を組み合わせた造語で、仮想空間において、すべての人に身体的な能力に関係なく、社会に参加する平等な機会を与えられるツールと考えられています。身近なところではゲームでの仮想世界とでもいうのでしょうか。

一言でいうのは難しいのですが、病気や障害などにより外出することが難しい方も自分の分身としてインターネットの仮想空間で交流をもったり、インタ

コラム「福祉の時をつかむ」

ーネットを通じて現実社会で店員ロボットとして働く訓練を行ったりと新たな障害者就労が生まれています。

新型コロナウイルスは世界中に大きな影響を与えましたが、一方として、これまでの当たり前から新しい当たり前へと変容する機会でもありました。

障害があっても社会とのつながりが持てる新しい障害者就労に期待します。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

12月17日(土)に羽村市スポーツセンターにてポッチャはむら大会が行われ、ひばり園からは2チーム(利用者と職員の混合)で計6名が参加しました。ポッチャとは、パラリンピック競技種目にもなっており、赤と青のボールを目標球にいかにつけるかを競います。年齢、障害の有無、経験を問わずに誰でも楽しむことができる競技です。今大会では練習の成果が実り、優勝・準優勝を達成しました。羽村市代表として東京都市町村ポッチャ大会に出場することが決まりました。

リサイクルショップくれよん

昨年もおたくさんのご来店・ご提供ありがとうございました。新年が始まり1/20(金)まで冬物衣類半額セールを行なっております。是非お立ち寄りください。併せてご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。今年も皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



半額セールの準備など、張り切って取り組んでいます。

福祉作業所スマイル工房

新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、

残念ながら今年も初詣と新年茶話会は中止となりました。そのため、今年の開所初日は文字通りの仕事始めとなりましたが、作業終了後、利用者の皆様に少しでも正月気分を味わっていただくために紅白まんじゅうをお配りしました。また、1月中旬ごろからバレンタイン仕様のクッキーの製造販売を開始します。ご注文を承っていますのでお気軽にお問合せください。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。ひばり園チームが羽村市のポッチャ大会で優勝するという嬉しいことがありました。練習の成果が実を結び、すばらしい結果となりました。私は、努力は裏切らないのだといつも思います。学生の頃や大人になってからも目標に向かって努力した分、結果がついてきました(努力しなかったことについては、その通りの成績でもありました)。そこで得られた成功体験は努力する意味を教えてくださいました。今年には新たな目標に向けた努力の一年にしようと思います。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512